

県民の皆様、
県の取組みを報告し、
皆様の要望を聞く

県政報告

2021年・春



岩手県議会議員

神崎 浩之

新型コロナウイルスへの対応 “感染防止と経済対策” 岩手県議会

県民の皆様には、この一年「生活」や「経済活動」において“自粛”を強いることとなり、心からお詫び申し上げます。

県議会としても「定例 県議会」に加え、追加で「臨時 議会」を開催し「**7度の補正予算**」を組み「**新型コロナ対策**」に対応いたしました。

今後も、**国の支援策**をとらえ、皆様への支援が早急に届くよう努めます。

一関地方においては、さらに「**水害**」や「**地震**」、「**大雪被害**」も襲い、「**農業ハウスの復旧**」等農業分野をはじめ、さらなる対応もせまられております。

引き続き「**県議・環境福祉・委員長**」として「**県・監査委員**」として「**介護・福祉の代表**」そして「**自民党 県議**」として、あらゆる「**立場**」と「**つながり**」を駆使し、一刻も早く**県民の皆様が安心して暮らせる日常**に戻す努力をしてまいります。



【本会議】

- ・4回の「定例議会」に加え5回の「臨時議会」を開催
- ・本会議には「委員長報告」と「一般質問」でこの一年間に計11回本会議上に立ちました

【2月「予算委員会」】

- ・総務部（振興局の機構改革）
 - ・政策企画部（県の情報提供のあり方）
 - ・教育委員会（工業高校の再編）
 - ・農林水産部（大雪の農業被害）
 - ・県土整備部（新笹ノ田トンネル建設）
- と5日間質問に立ちました



【環境福祉委員会（委員長）】

- ・「PCR 検査体制」「感染症病棟の整備」
- ・「クラスター」「保健所支援」
- ・「ワクチン接種体制」

等について12回の委員会を開催し、岩手の感染防止体制を整備しました

～ ポスト・コロナ時代へ 神崎の展望 そして飛躍へ！ ～

この一年、「世界が」「人類が」、新型コロナウイルスと闘い「**先が見えない**」「道しるべもない」「怪しい地図が何枚もあり」、「彷徨い」「何を信じて進めば良いのか」、不安、心配を抱えながら「闇」を歩いてきました。

この「ウイルス」は、「**病気**」として重症化したり、亡くなったりするだけではなく…、「**経済を疲弊させ**」、仕事や生活のあらゆる場面で「**人と人とが 触れ合う事**」を奪いました。

しかし、私たちは「**感染対策**」をしながらも「**経済をまわして**」いかなければなりません。

「コロナ禍」は**社会を変えました**。掛け声だけだった「**オンライン会議**」や「**在宅勤務**」が広がり、「**地方でのリモートワーク**」が進み、「**東京から地方へ**」本社を移す企業も出ました。

都会の「**満員電車の通勤**」から、住環境、自然豊か、子育て環境の良い地方への移住、「**岩手への、移住のインセンティブ**」が上がりました。

教育の分野でも「**GIGA スクール構想の実現**」により、学校・家庭との「**ICT 環境**」が整備され、これは「**地方の教育の格差是正**」につながります。

- ・ コロナ禍の、この「**苦しい一年**」でしたが
- ・ 「**新しい生活様式**」や「**新しい価値**」により
- ・ 「**私たち地方**」は「**地方創生のヒント**」を得ました
- ・ 厳しいですが、「**活路**」を見出し
- ・ 「**新しい未来**」への、「**明るいビジョン**」を
- ・ 「**県民、企業**」に、示していくことが
- ・ **2021年**、我々「**政治家**」の、「**大きな使命**」があります。

岩手県 令和3年度 予算 が成立

総額 8,105億円 [1,218億円 (13.1%) 減少]

●新型コロナ対策 959 億円 ●県税収入 1,217 億円 [97 億円 (7.4%減少)]

新型コロナウイルス感染症対策 ～商工関係の支援策について～

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための

企業の思い切った事業再構築を支援 (中小企業等事業再構築促進事業)

●令和2年度第3次補正予算で1兆1785億円が計上 ●補助金の公募は、1回ではなく、令和3年度内に複数回実施予定がございます。

国の支援事業

新分野展開や事業転換、事業・業種転換等の取組、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大等を目指す、以下の要件をすべて満たす企業・団体等の新たな挑戦を支援します！

対象

1. 申請前の直近6か月のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業等。
2. 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む中小企業等。
3. 補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加の達成。

中小企業

通常枠 補助額 100万円～6,000万円 補助率 2/3
卒業枠※ 補助額 6,000万円超～1億円 補助率 2/3

※卒業枠：400社限定。事業計画期間内に、①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開のいずれかにより、資本金又は従業員を増やし、中小企業から中堅企業へ成長する事業者向けの特別枠。

※中小企業の範囲については、中小企業基本法と同様

最先端で苦悩する「市町村」や「団体」の皆様の声をお聞きし、
県政へ、国政へ届け、県政課題の解決に

事業再構築補助金についての
詳しい内容はこちらから



【一関市長からの要望】

・一関市長はじめ県内33市町村長へ訪問
「課題と要望」の聴き取り・取りまとめ



【知事への要望】

・市町村、団体からの「課題と要望」を
「知事」へ伝え、県の施策の反映に



【政府へ要望】

・11/9 総務省：宮地・総務大臣政務官へ
特別交付税等、県内市町村への財政支援を



【自民党本部へ要望】

・11/9 自民党：下村・自民党政調会長へ
岩手の中小企業支援策、医療体制支援策を

県の支援事業

【地域企業経営支援金支給事業費補助】

感染症対策に取り組みながら事業を継続し、売上が前年同月比で50%以上減少又は連続する3か月の売上の合計が前年同期比で30%以上減少している中小企業者等に支援金を支給

【支援額】

上限 40 万円／店舗等

※中小法人等 200 万円、個人事業者 100 万円を限度

【連絡先】

県庁 経営支援課

TEL 019-629-5547

※ 8:30～17:15（土日祝除く）

新型コロナワクチン高齢者向け接種 岩手県および一関市の取組状況

■高齢者ワクチン 岩手県の配給スケジュール

区 分	配給時期	配給数量	接種可能人員
第1弾分	4/5の週	2箱	975
第2弾分	4/12の週	10箱	4,875
第3弾分	4/19の週	10箱	4,875
第4弾分	4/26の週	33箱	16,087
計	—	55箱	26,812

■ワクチン接種の進捗状況

- ・医療従事者等分 24箱
(23,400回分(全体約90,000回分の26.0%))
- ・高齢者分 2箱
(1,950回分(全体約812,000回分の0.24%))

■県内のワクチンの接種実績

- ・医療従事者等分 14,884回
(全体約90,000回分の16.5%)

岩手県新型コロナワクチン専門相談コールセンター
0120-89-5670 【受付時間】9:00～21:00(土日祝日を含む)

- 相談体制
- ・**看護師等**資格を持つ専門職による相談対応(直営2名、委託3名)
 - ・相談に係る医学的な指導・助言について**岩手医科大学**に委託(看護師1名、医師1名)
 - ・**副反応**に係る相談等の医学的知見が必要となる専門的な相談への対応
 - ・被接種者に**副反応**を疑う症状が発生した場合に、**専門的な医療機関**への診療の協力を依頼

一関市の高齢者新型コロナワクチン接種実施予定

4月11日から高齢者施設などの入所者2929人を対象に先行接種。それ以外の高齢者3万8901人については、かかりつけ医や身近な医療機関などの**個別接種会場**と**集団接種会場**で接種できる体制を整える。

		4/12	5/17	5/22	6月中旬	7月下旬
高齢者施設等入所者		接種開始				接種終了
高齢者施設等 入所者以外	個別接種		接種開始			
	集団接種			接種開始		

一関市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
0120-033-567 【受付時間】9:00～17:00(土日祝日を含む)

予約受付や接種会場に関する一般相談に対応するコールセンター等の設置



「クルーズ船」の感染症制御に尽力した
岩手県感染症対策専門委員長 櫻井滋氏と
(一関市医師会PCRセンター設置研修会場にて)



・感染症病棟の課題について宗像院長から
受け入れにあたっての準備と課題・要望を
(県立千厩病院にて)



・11/9 厚労省・大隈・厚労大臣政務官へ
岩手の感染対策の課題、地域医療支援の要望
(厚生労働省にて)

岩手の災害

「大雪被害」と「水害」
「遊水地事業」への対応



7月下旬の大雨をはじめ「水害」により「水稲」「野菜」に被害あり（一関市遊水地）



12月の記録的な大雪により「水稲・野菜」の「ビニールハウス被害」（一関市厳美町）



一昨年11月赤羽・国交大臣「一関遊水地」視察時、長年解決されない「地役権」問題を説明し「解決する約束」をいただき今年解決となる



12月7日 事業着手から「半世紀」「地役権補償」に関する協定書調印式（地権者代表の皆様を労う）



進藤総務大臣政務官（農水省出身）来関大雪被害を説明し「農業用ハウス再開」に向けて、国の大きな支援制度の創設により、県南の被災者の支援再開につながった

【一関遊水地事業の半世紀にわたる「課題」が解決する】

- ◎一関遊水地は水害に対し「大きな成果」をもたらしている、一方地権者との「地役権（補償金）」が長年解決されない課題であった。
- ◎一昨年 赤羽・国土交通大臣に説明、要望し、昨年12月「調停締結」となる。
- ◎地権者（2,000人）の、半世紀にわたる長年の課題が解決された。

【一関地方の「水害」「大雪被害」に対し】

- ◎毎年一関を襲う「大雨被害」。12月には「大雪」による「農業用ビニールハウス」の倒壊により育苗、野菜、畜産に大きな打撃
- ◎国の制度創設に影響のある大臣、国会議員を一関に招聘し、現地で説明、「予算の確保」「支援スキーム」を要請

〈パイプハウスの再建、修繕、撤去、補強〉

- ①強い農業・担い手づくり総合支援交付金（地域担い手育成支援）
 - ②持続的生産強化対策事業（産地緊急支援対策）
 - ③強い農業・担い手づくり総合支援交付金（被災産地施設支援）
 - ④強い農業・担い手づくり総合支援交付金等の助成対象外
- ※再開への支援として 最高で77%補助
かつてない大きな支援策に

その結果

声を聞き、活かします



私の自慢は
「耳が大きい」 いっぱい「声」を聞きます
「口が大きい」 思いを「代弁」します
「鼻が大きい」 鼻が「利き」ます
高齢者、障がい者、若者、女性…
声を聞いて、行動します

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。【連絡先】神崎浩之事務所 岩手県一関市銅谷町3-21 TEL:0191-31-6565

神崎浩之 プロフィール

Hiroyuki Kanzaki

岩手県議会議員 **神崎浩之** (1961年4月16日生)

◆岩手県立一関第一高等学校 普通科卒業 ◆文教大学 人間科学部 人間科学科 卒業

- ◆一関市議会議員（3期）
- ◆岩手県議会議員（3期目）環境福祉委員会 委員長 岩手県監査委員
- ◆自由民主党岩手県支部連合会 総務会長代理



防災士資格を取得しました。

<http://www.kanzakijimusho.com/> ブログ・フェイスブック・ツイッターにて情報発信中！！